



中間報告書

1×1=1∞の価値に

お客さま企業を深く理解し、寄り添いながら、
デジタル技術を徹底活用することで、
製品や業務情報の価値を可能な限り、高めていきます。

代表取締役社長

佐々幸恭

ささ ゆきやす



2026年9月期 上半期について

業績について詳しくはこちら



ポイント
1

上半期は好調に推移も、中東情勢など不透明な市況を踏まえ、通期は据え置き

ポイント
2

名古屋証券取引所 プレミア市場へ変更上場し、記念配当 (期末) を決定

前期比、予想比ともに増収増益

(億円)

連結業績	実績	前年同期比	上半期予想比	
売上高	102.3	+14.6%	100	+2.4%
営業利益	18.2	+56.3%	14	+30.4%
経常利益	20.8	+40.6%	15	+39.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	14.1	+44.5%	10	+41.7%

- 売上高は、お客さま企業の製品モデルサイクルを背景に増収
中国等の市況悪化も、デジタル変革のご支援は堅調
- 営業利益は、主に増収効果で増益
予想比では、上期想定費用の下期への期ズレが影響
- 経常利益、中間純利益は、為替差益が寄与

名古屋証券取引所 プレミア市場へ

最上位市場への市場変更を通じて、
個人株主の皆様との接点拡大をめざします



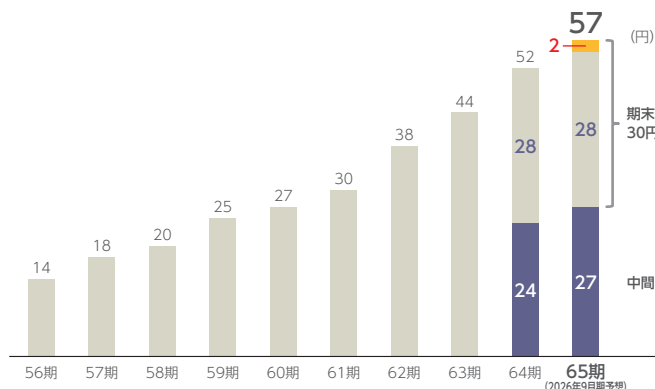
* 左: 名古屋証券取引所 竹田 正樹社長



* 東証スタンダードとの重複上場

記念配当を実施決定、更なる増配

期末に記念配当 2円を実施決定
9期連続の増配予想



トンガルLABOをフルリニューアル

当社グループが描く「人とデータの共生で、くらしをもっと楽しく」の未来に向け、時代に即した先端技術を活用し、お客さまと共に新たなビジネスの可能性を探求

<コンセプト>

オドロキ ワイガヤ
「発見」×「共創」

トンガルLABO
公式ホームページ



1×1=1∞の価値に挑戦

■ 製造業や物流業における事故ゼロの実現

実際の倉庫をMR技術で再現し、ヒヤリハット情報を表示。体験者の視線や動線などを分析し、次世代安全教育の可能性を追求します。



■ 整備業における省人化、自動化の実現

実際にある整備現場を3D化し、デジタル上で表現。修理手順、標準作業時間を踏まえ、整備の省人化、自動化について、可能性を追求します。



トピックス

社員の働きやすさ、行動変容、健康づくりに配慮したオフィスへ改装

今回の本社改装に伴い、オープンスペースのリニューアルやマッサージルームの新設を実施しました。新しい職場環境で、社員一同、変革に向け、邁進します。



新本社外観



オープンフロア

「はぐふる」WEBが「厚生労働省医政局長賞」を受賞



2026年3月に、CMC GROUPが運営する医療・ヘルスケア情報サイトが、「厚生労働省医政局長賞」を受賞しました。引き続き、社会貢献活動として取り組みます。



WEBサイト▼

